

中村区 NAKAMURA
FUTURE VISION
将来ビジョン

令和2~5年度



中村区役所

目次

Contents



1 はじめに

P.1

2 区の概要

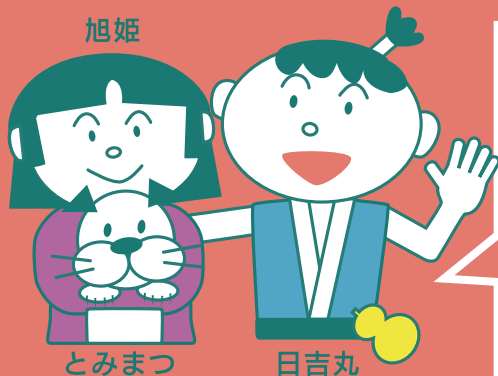
P.4

3 区の基本目標

P.10

4 基本目標達成に向けた 取り組み

P.11



豊臣秀吉公生誕の地である中村区にちなみ、秀吉公の幼名とその妹を区役所からの広報に活用しています。

とみまつは、交通安全マスコットキャラクターとして交通安全のため、広報啓発に努めています。

1

はじめに
In the beginning

1

策定にあたって

名古屋市では、今後の区役所の果たす役割・方向性を示すものとして「区のあり方基本方針」を平成29年3月に策定しました。その中でめざすべき区役所像として「住民に身近な総合行政機関」を掲げております。

そこで、区役所が区民の皆さまとともに地域の課題解決や区の特성에応じたまちづくりに取り組んでいくために、今回新たに『中村区将来ビジョン(以下、ビジョンという)』を策定します。

ビジョンでは、中村区の基本目標を掲げ、基本目標達成に向けた中長期の取り組みをお示しいたします。

ビジョン策定にあたりましては、中村区区民会議などで区民意見を聴取してまいりましたが、ビジョンをご覧になった感想など、今後も中村区政に関するご意見をお寄せいただきたいと思いますと考えております。

中村区役所では、このビジョンに基づき様々な事業を実施してまいりますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

中村区役所



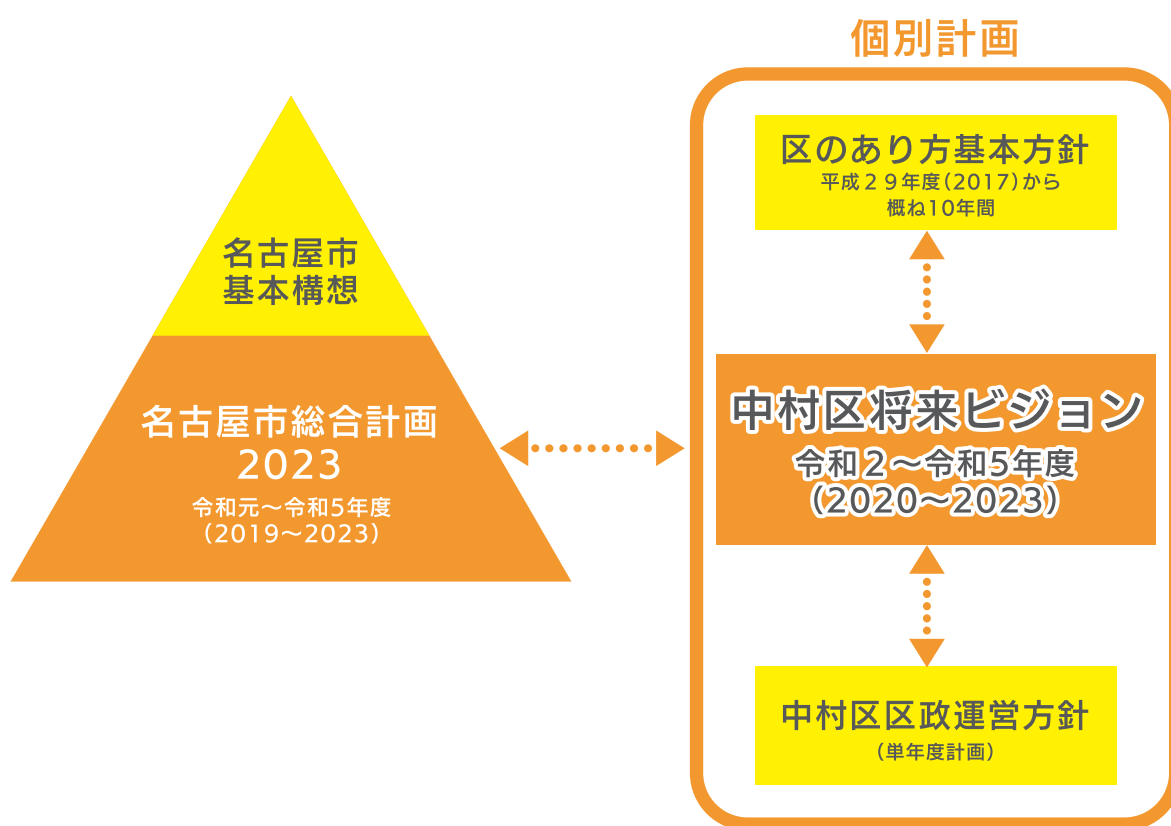
2

ビジョンの計画期間

令和2(2020)年度から令和5(2023)年度までの4年間です。
※「名古屋市総合計画2023」と終了時期をあわせませす。

3

ビジョンの位置付け



本市のめざす都市像やその実現に必要な施策・事業を取りまとめた「名古屋市総合計画2023」を踏まえ、中村区が策定する個別計画と位置付けます。

また、ビジョンに基づき実施する、各年度の事業をお示しするものとして中村区区政運営方針を策定します。

具体的な取り組みは区政運営方針に基づいて実施することにより、ビジョンの進行管理を行います。

■ なお、「名古屋市総合計画2023」と同様に「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念に基づく経済・社会・環境が調和したまちづくりを進めます。

エスディージーズ
持続可能な開発目標 (SDGs) とは
Sustainable Development Goals

平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている、2030年を期限とする国際社会全体の包括的な17の目標です。

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むものとされています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2

区の概要 Summary of Nakamura-ku

1

沿革と概況

中村区は、昭和12年10月の10区制の実施により、中区と西区の一部を分離して創設されました。

区名は、愛知郡に属していた当時の旧中村の地が区域の大部分を占めていたことから「中村」と命名されました。

市の西部に位置し、西・中・中川区、清須市、あま市、大治町と隣接しています。

人口は創設時より増加傾向が続き、昭和30年代終わり及び昭和40年代初めには一時20万人を超えていました。昭和40年代半ばからは減少が続いていましたが平成17年には37年ぶりに増加し、その後は増減を繰り返しています。

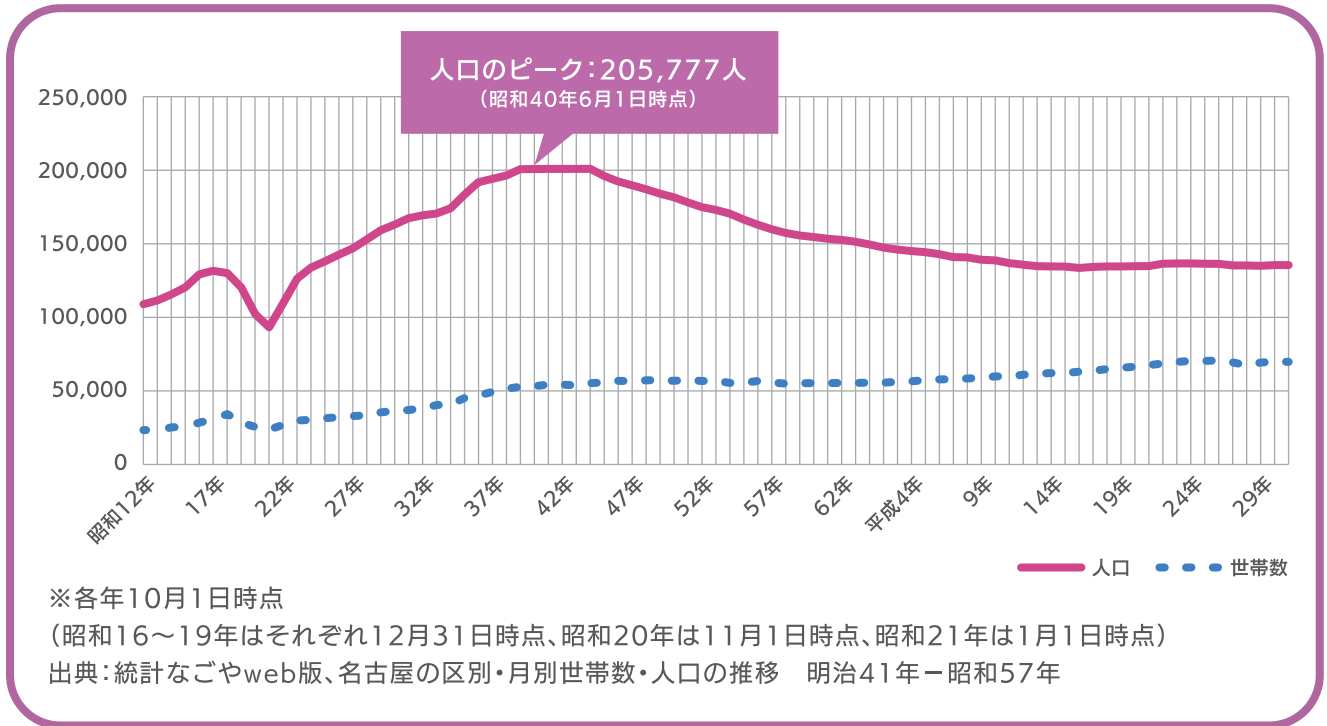
人口構造としては、65歳以上の人口比率が市全体の比率より高く、15歳未満の人口比率が市全体の比率より低くなっています。

■基礎データ

項目	中村区	名古屋市	16区内順位
面積	16.3 km ²	326.45 km ²	11位
世帯	70,196世帯	1,108,084世帯	9位
人口	134,864人	2,317,646人	11位
65歳以上人口	36,399人	570,043人	9位
比率	27.3%	25.0%	4位
15歳未満人口	12,827人	279,650人	12位
比率	9.6%	12.3%	15位

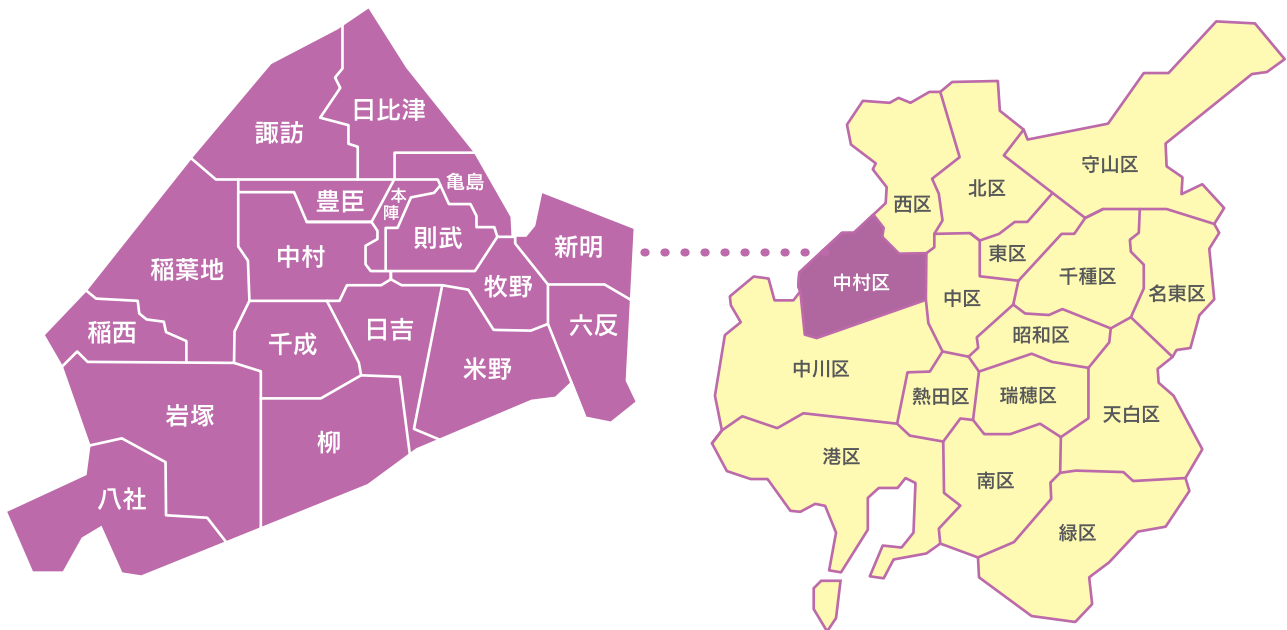
平成31年4月1日時点

■人口・世帯数の推移



■ 区の東部は名古屋駅を中心としたビジネス街・商店街・地下街などからなり、名古屋の経済活動の中心的役割を担っています。

■ 区の中・西部は、商店やマンションが立ち並ぶ一方、昔ながらの木造家屋も多く見受けられます。また、この地域には歴史的・文化的史跡も多く残っています。



区内には神社・仏閣が多く、伝統的な祭も各地で開催されています。



名古屋駅周辺地区



太閤まつり



きねこさ祭



花車神明社祭

区のシンボルマーク



全体は中村区の「中」を表し、左側にム、右側にラとした今まさに大空に向かって飛びたとうとしている鳥のイメージを表現したもの区制50周年記念事業として、昭和62年4月公募により制定

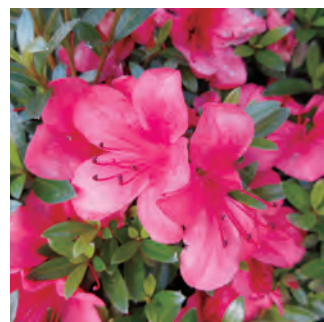
区の花



スイセン
(ひがんばん科)

市制100周年記念事業として、平成2年3月公募により制定

区の木



サツキ
(つつじ科)

区制50周年記念事業として、昭和62年4月公募により制定

2

特性

リニア中央新幹線の開業

令和9(2027)年にリニア中央新幹線の東京ー名古屋間の開業が予定されています。その後早ければ令和19(2037)年には大阪までの全線開業の可能性があり、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が約1時間で結ばれ、スーパー・メガリージョン*が誕生し、7,000万人規模の世界最大の巨大経済圏の中心に位置することになります。

名古屋駅周辺では超高層ビル群が建設されており、今後も駅周辺が整備されるなど活気に満ちたまちづくりが進められます。

名古屋駅を有する中村区においても、経済活動の活性化と交流人口の増加が見込まれます。

■名古屋駅駅前広場における「顔づくり」

「顔づくり検討イメージ図」は東西の広場で行われる様々な活動を中心に整理したものです。



※イメージであり、内容を確定するものではありません。

※スーパー・メガリージョン:東京、名古屋、大阪はメガリージョンと呼ばれる大都市圏域を形成しているが、スーパー・メガリージョンは、その三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ、リニア中央新幹線全線開業により一体化し形成される世界最大の人口を有する巨大経済圏のこと

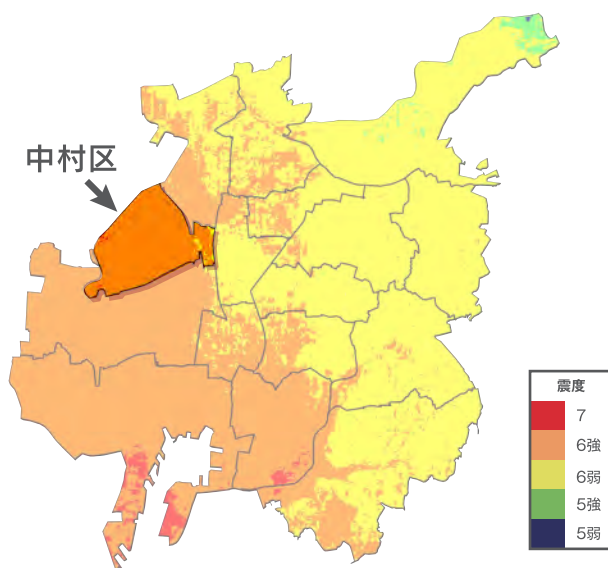
大規模災害への備え・対応

区内には、木造住宅が密集している地域が広く分布しており、大規模地震が発生した場合、家屋の倒壊や火災の延焼による被害が懸念されています。また、区内全域に液状化発生の可能性があります。

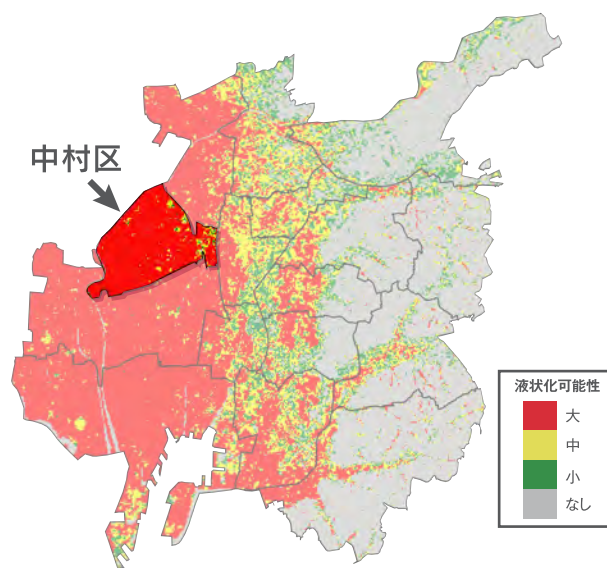
庄内川に隣接しており、大雨による洪水(外水はん濫)が発生した場合、区内全域に浸水被害が出るのが想定されています。

大規模災害に備え、「公助」のほか、地域住民の「自助」「共助」といった防災意識をより一層高めていくことが必要です。

■本市におけるあらゆる可能性を考慮して想定される最大クラスの震度・液状化の可能性



<震度>



<液状化>

出典：名古屋市「あなたの街の地震ハザードマップ」

武将のふるさと

中村区は豊臣秀吉、加藤清正の生誕の地であり、中村公園一帯は、豊臣秀吉を祭る豊國神社や加藤清正の出生地といわれる妙行寺など、ゆかりのある史跡があります。

豊臣秀吉、加藤清正にちなんだ地名も数多く残っていることから、「武将のふるさと」は中村区の魅力の一つであるといえます。

■ 秀吉・清正ゆかりの社寺

豊國神社

秀吉を祭神とする神社。明治18(1885)年、地元の有志が尽力し、国貞県令の協力を得て現在地に本殿が完成。明治43(1910)年の清正300年祭を機に清正を合祀した。



豊公誕生之地碑

常泉寺

慶長3(1598)年に秀吉が没した後、その屋敷跡に円住院日誦上人を開山として清正が建てたと伝えられる。



伝 豊太閤産湯之井戸

妙行寺

日蓮宗の熱心な信者であった清正が、名古屋城天守の石垣工事の折に用いた普請小屋を移築し本堂としたとされる。



清正公誕生之地碑

3

区の基本目標 Basic goal of Nakamura-ku

「夢」・「笑顔」・「やさしさ」あふれるまち
中村区



中村区にお住まいの方や訪れる方が、区内での生活や区の魅力に触れることで、「夢」・「笑顔」・「やさしさ」を持ってもらえることをめざし、本ビジョンにおいて、上記を区の基本目標として掲げます。

また、基本目標の達成に向け、以下の4つを柱として掲げ、各種施策に取り組んでまいります。

基本目標達成に向けた4つの柱

めざすまちの姿

I 安心・安全で快適なまち

II いきいきと暮らせる「支え愛」のまち

III 魅力と活力にみちた、愛着を感じるまち

IV 身近で信頼される区役所づくり

4 基本目標達成に向けた取り組み

Initiatives to achieve basic goals

I 安心・安全で快適なまち



1

地域防災力の向上

① 現状・課題

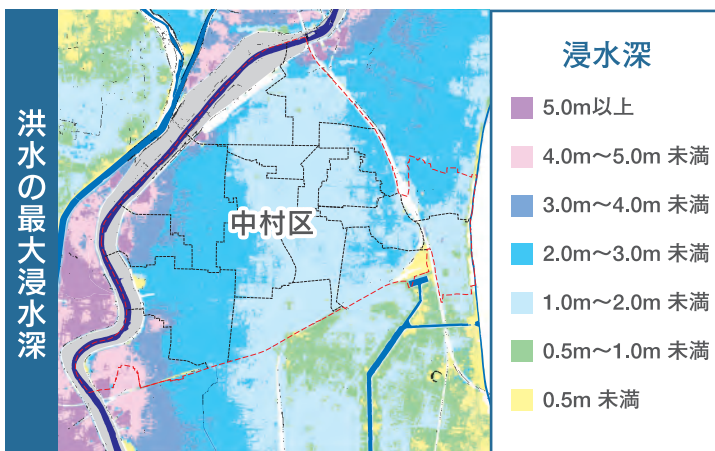
- ・木造住宅が密集している地域があり火災や地震時に火災延焼、建物倒壊の恐れがある
- ・大規模地震発生時に、区内全域で液状化の発生、区南部において津波浸水被害の恐れがある
- ・大雨により庄内川がはん濫した場合、区内全域において浸水被害の恐れがある

② 施策 1

大規模災害に備え、自助・共助・公助による地域防災力の向上に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して防災意識が高まったと思う区民の割合	63.0% (令和元年度)	70%
中村区において地区防災カルテ*を通じた避難行動計画の策定・防災訓練を実施した学区数	— (平成30年度)	18学区(全学区)



出典：名古屋市「あなたの街の洪水・内水ハザードマップ」



*地区防災カルテ：地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、防災に関連する情報を学区ごとにまとめたもの

4 基本目標達成に向けた取り組み

Initiatives to achieve basic goals

安心・安全で快適なまち

2 交通事故防止・犯罪防止などの啓発活動

① 現状・課題

- ・交通事故による死傷者数は市内で4番目に多く、特に自転車による死傷者数の割合が市内の平均より高い
- ・高齢者の自転車運転時におけるヘルメット着用率が低い
- ・犯罪発生件数が市内で2番目に多く、特に住宅対象侵入盗・自転車盗件数が市内の平均より多い
- ・名古屋駅周辺においては、依然として多くの放置自転車が存在している

② 施策 2

交通事故防止・犯罪防止について、警察・地域と協力し、
広報・パトロールするなど、啓発に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して交通事故・犯罪が少なく安心して暮らせるようになったと思う区民の割合	33.9% (令和元年度)	40%



交通安全キャンペーン

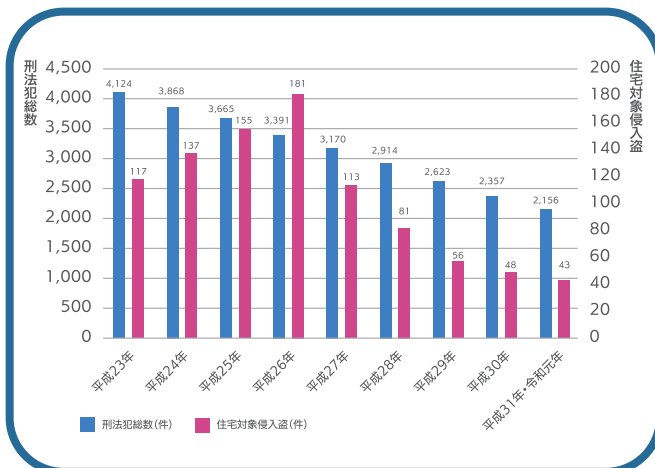


交通安全教室

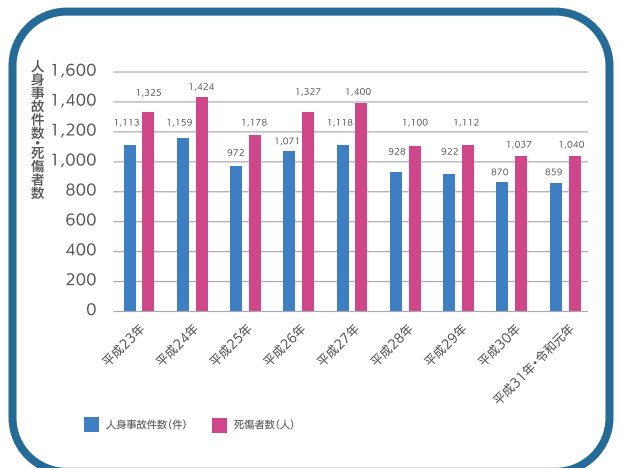


中村区役所交通安全マスコットキャラクター「とみまつ」

■ 犯罪発生件数(中村区)



■ 交通事故発生状況(中村区)



※愛知県警察本部資料より作成

3

清潔で快適なまちづくり

① 現状・課題

- ペットのフン処理などのマナーが守られていない
- 一部の単身者や集合住宅などで、ごみ出しや分別マナーが守られていない
- 適正な管理がされていない空家、雑草やごみ等で汚れた空地が増加している

② 施策 3

ペットの飼育やごみの分別等のマナー向上についての啓発、民間事業者や警察等と連携した空家・空地の適正管理の推進に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して清潔で快適に暮らせるようになったと思う区民の割合	64.4% (令和元年度)	70%



ペット飼育の啓発
(マナーアップキャンペーン)



ごみ分別の啓発
(環境デー)



空家等対策プロジェクトチーム会議

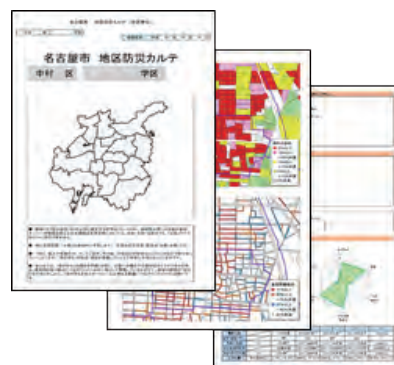
トピックス

《地域における防災活動》

大規模地震や大雨などの風水害による被害が懸念される中、地域の皆さまとともに防災・減災に向けた取り組みをより一層進めるため、地域特性に応じた防災活動を推進・支援し、「自助」「共助」「公助」による地域防災力の向上をめざします。

地区防災カルテ

地形や災害リスクの地域特性や地域の防災活動状況など、防災に関する情報を学区ごとに整理したものです。地区防災カルテを活用し、地域で取り組む防災活動などについて地域の皆さまと話し合い、地域避難行動計画の策定などを支援します。



助け合いの仕組みづくり

災害時に高齢者や障害者など自分の力で避難することが難しい方々について「どのように安否を確認するのか」などを地域で事前に決めておくために、避難行動要支援者名簿及び個別支援計画の策定を支援します。



戸別訪問による防災意識の啓発

消防職員・消防団員等が家庭を戸別に訪問し、家庭の防災力を確認するとともに、家具転倒防止器具などの防災用品を活用した意識啓発を行い、自助力の向上を図ります。



家具転倒防止ボランティアの養成及び派遣

大規模地震での家具転倒による被害を軽減させるため、地域の方々を対象に家具転倒防止ボランティアを養成し、自力で家具を固定できない方のお宅に派遣して家具転倒防止器具の取付けを行います。



II いきいきと暮らせる「支え愛」のまち



1 安心して子育てができるまちづくり

① 現状・課題

- 子どもの人口の割合が市内で2番目に低い
- 子育て中の人々の交流、情報交換の機会について、区民に十分に周知されていない
- 子育てに困った時の相談支援をさらに充実する必要がある

② 施策 4

子育て中の人々に対し、交流・情報交換の機会を周知するなど、相談・支援の充実を図ります

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して子育てしやすいまちになったと思う区民の割合	62.5% (令和元年度)	70%



子育て支援者のための研修会



子育てイベント
(子育てわいわいひろば)

2

高齢者が安心して暮らせるまちづくり

① 現状・課題

- ・人口に占めるひとり暮らし高齢者の割合が市内で2番目に高い
- ・介護保険被保険者に占める要介護・要支援者の割合が市内で最も高い
- ・人口に占める認知症者の割合が市内で3番目に高い
- ・災害時における高齢者への支援を充実させる必要がある

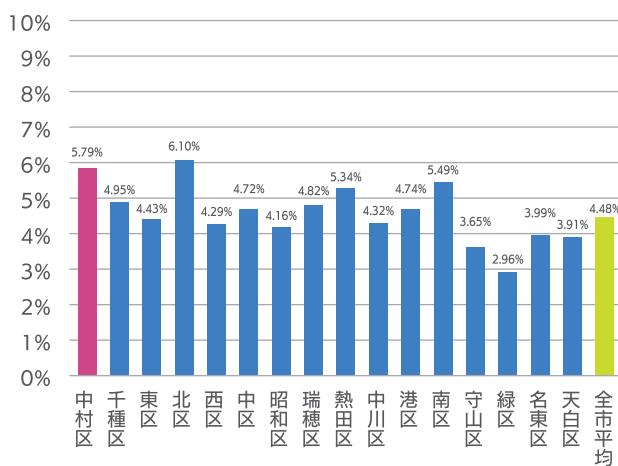
② 施策 5

地域住民による交流・見守りにより高齢者の孤立化を防ぎ、身近な居場所づくりや生きがいづくりなどの介護予防につながる施策に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して高齢者が暮らしやすいまちになったと思う区民の割合	60.9% (令和元年度)	65%
認知症サポーター養成講座※受講者数(累計)	11,842人 (平成30年度末)	21,200人 (令和5年度末)

■ひとり暮らし高齢者(65歳以上)の割合



※平成31年4月1日時点の人口及び
名古屋市「ひとり暮らし高齢者の認定基準」に基づく
ひとり暮らし高齢者数より算出



高齢者サロン活動

※認知症サポーター養成講座:認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成する講座で、いきいき支援センターなど地域の身近な場所で随時開催

3

障害者が安心して暮らせるまちづくり

① 現状・課題

- 人口に占める障害福祉サービスを必要としている人の割合が市内で5番目に高い
- 障害者の高齢化や重度化が進んでいる
- 障害や障害者に対する理解、地域における共生社会の実現に向けた啓発活動を充実させる必要がある
- 災害時における障害者への支援を充実させる必要がある

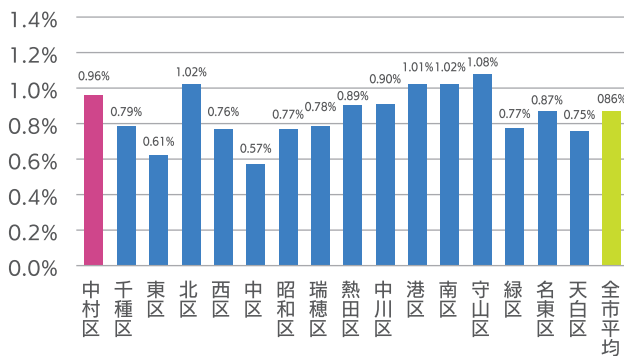
② 施策 6

障害者が安心して地域での生活ができるために、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会となるよう啓発活動に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して障害者が暮らしやすいまちになったと思う区民の割合	50.3% (令和元年度)	55%

■障害福祉サービスを必要としている人の割合



※平成31年4月1日時点の人口及び平成31年3月31日時点の障害福祉サービス支給決定者数より算出



トピックス

《地域支えあい事業》

日常生活の「ちょっとした困りごと」を地域のボランティアの「力」で解決する仕組みです。地域における支えあい意識から地域力の向上を図ることを目的として実施しています。学区地域福祉推進協議会（住民組織）が推進主体となり、区社会福祉協議会のコミュニティワーカーと連携しながら、地域住民によるコーディネーターが相談を受け、ごみ出しや電球交換などの生活支援を提供するものです。

主な実施内容

住民相談窓口

住民相談窓口を学区内に設置します。窓口には、住民の中から選任された「ご近所ボランティアコーディネーター」が配置され、地域住民から寄せられる困りごとの相談にのります。

困りごとのお手伝い（生活支援活動）

学区で募ったボランティアが、重たい物の移動やゴミ出し、電球や換気扇の交換、買い物の同行等のお手伝いを行います。その他、子どもの登下校の見守り活動等を行う学区もあります。また、活動に対してポイントが付与されるボランティアポイントという仕組みもあります。

地域支えあい活動連絡会議の開催

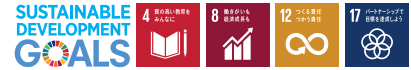
区社会福祉協議会やいきいき支援センターなどの専門機関も加わり、困りごとの情報共有や生活課題を解決するための支援方法について検討します。

実施学区

日比津、豊臣、則武、日吉、八社（令和2年3月末時点）



III 魅力と活力にみちた、愛着を感じるまち



1 歴史、地域資源などの魅力にみちたまちづくり

① 現状・課題

- ・リニア中央新幹線の開業などにより名古屋駅周辺の開発が進み、来訪者の増加が期待されている
- ・豊臣秀吉、加藤清正など武将ゆかりの地名や中村公園一帯の歴史的資産の認知度は低い
- ・情報発信力のあるご当地グルメなどが少ない

② 施策 7

太閤秀吉功路・尾張中村めしなどにより、中村公園をはじめとする地域の魅力を発信するとともに、区民が地元へ愛着を持ち、多くの人々が訪れる活力にみちたまちづくりをすすめます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して歴史と地域資源を活かしていると思う区民の割合	65.9% (令和元年度)	70%



武将案内板 (豊臣秀吉)



中村公園
初代中村勘三郎像



まち歩きイベント



武将案内板 (加藤清正)



歴史体験授業

4 基本目標達成に向けた取り組み

Initiatives to achieve basic goals

Ⅲ 魅力と活力にみちた、愛着を感じるまち

2 文化・芸術・スポーツ活動などの活力にみちたまちづくり

① 現状・課題

- ・事業への関心が低いものがある
- ・参加者のリピーター割合が高く、新規の参加者が少ないものがある
- ・事業によっては、内容の部分的リニューアルなど、新たな魅力を取り入れる必要がある

② 施策 8

文化・芸術・スポーツ活動などの事業に対する関心を高め、多くの区民が参加することにより、地域の交流を促進します

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して文化・芸術・スポーツ活動などの生涯学習が活発になったと思う区民の割合	56.7% (令和元年度)	60%



なかむら音楽会



区民体育大会



いけばな展



書道展



美術展

3 地域コミュニティの交流が盛んなまちづくり

1 現状・課題

- ・町内会への推計加入率が市の平均より低い
- ・単身世帯、外国人住民などが多くなり地域での交流機会が少なくなっている
- ・地域活動への参加者の減少や役員の担い手が不足している

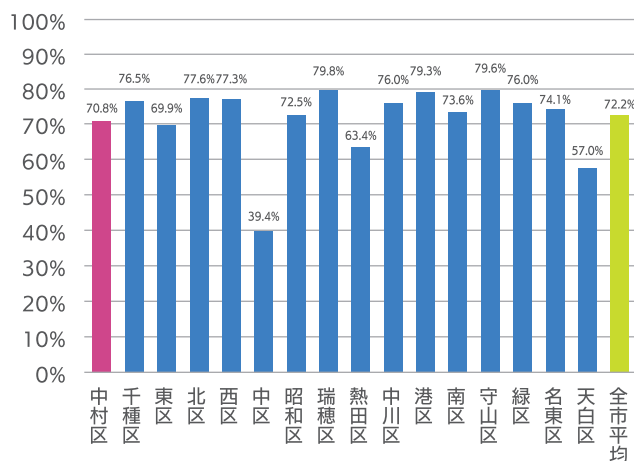
2 施策 9

地域コミュニティの推進・支援に取り組みます

3 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区では以前と比較して地域コミュニティの交流が盛んになったと思う区民の割合	45.1% (令和元年度)	50%

■町内会推計加入率



出典：平成30年度学区別生活環境指標より作成



トピックス

《武将観光ロード「太閤秀吉功路 人生大出世夢街道」》

豊臣秀吉や加藤清正の生誕地として知られる中村区には、武将にゆかりのある地名や史跡、歴史的・文化的な資源が点在し、「武将のふるさと」として親しまれています。

そこで、「名古屋駅」から戦国一の大出世を果たした豊臣秀吉生誕地の石碑が立つ「中村公園」までのルートをも、「太閤秀吉功路」と命名しました。ルートの道標である「太閤秀吉モニュメント」設置をはじめとした事業展開を進め、観光資源として活用・PRに取り組むとともに、地域の活性化に繋がっていきます。

コンセプト

出世、挑戦、成功したい人を
日本一応援するロード

詳しくは
こちらの
QRから
▶ サイトへ
ジャンプ

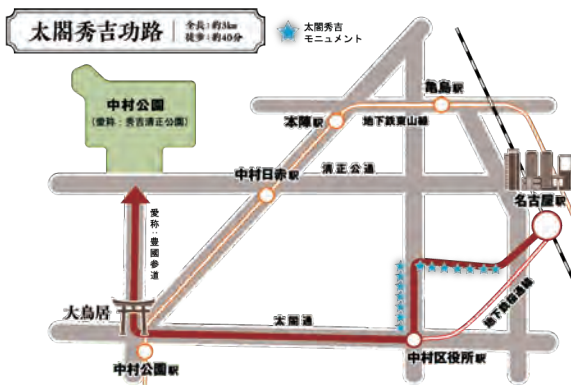


キャッチコピー

ここから、太閤秀吉。

■ 太閤秀吉功路 ルート (令和2年3月末時点)

■ 太閤秀吉モニュメント(第十幕)



- レリーフ
- オブジェ

名古屋城
石垣風土台

高さ1250mm×ヨコ800mm×奥行300mm

■ 情報発信・イベント

情報発信にロゴデザインを活用していきます。また、イベントの実施や地元の方と大学生によるワークショップ等を行い、街道を楽しみながら歩ける仕掛けづくりを進めていきます。



太閤秀吉功路
TAIKO HIDEYOSHI KOURO

ロゴデザイン



イベント



ワークショップ

IV 身近で信頼される区役所づくり



1

窓口サービスの向上

① 現状・課題

- ・手続きに必要な書類や、担当の窓口が煩雑でわかりにくい
- ・繁忙期に窓口における待ち時間が長い
- ・職員の接客能力のさらなる向上が求められている
- ・外国人住民の増加により、多言語対応が求められている

② 施策 10

便利で快適な窓口サービスの提供に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区役所窓口における対応がよかったと思う方の割合	97.6% (平成30年度)	100%



フロアサービス



職員研修

2

広報・広聴活動の充実

① 現状・課題

- ・区役所業務、事業に関して区民に十分に情報が伝えられていない
- ・区民ニーズをより一層把握する必要がある
- ・若者向けの情報発信力を高めていく必要がある

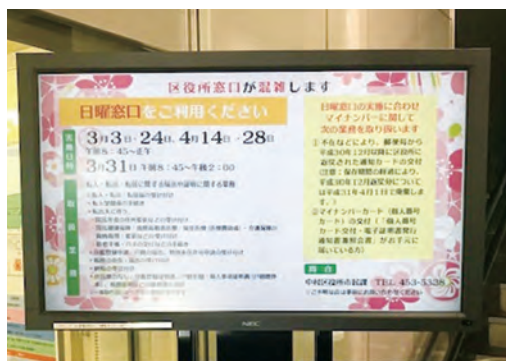
② 施策 11

区民ニーズを把握し、区政の情報発信に取り組みます

③ 成果指標

指 標	基準値	目標値 (令和5年度)
中村区ウェブサイトのアクセス件数	415,455件 (平成30年度)	450,000件

■ 区政情報の発信



行政案内モニター



中村区役所 情報コーナー

■ 中村区区民会議



区民会議



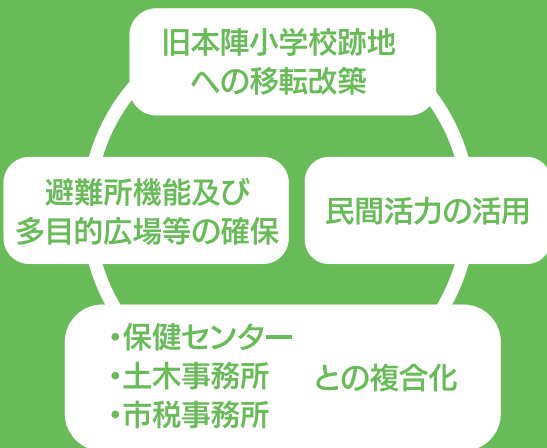
ワークショップ

トピックス

《中村区役所の移転改築》

中村区役所は昭和39年に建築され、建設後50年以上が経過し、社会的ニーズや行政サービスなどの変化を受け、より一層の効率的で質の高い行政サービスの提供が求められています。長年にわたる地域からの移転の要望があり、平成27年度より改築に向けた検討を進め、令和4年度中の新庁舎供用開始に向け、事業者による設計・工事が行われています。改築にあたっては、周辺の公共施設との複合庁舎化などにより、区民サービスの向上、保健と福祉の連携、地域の安心・安全の確保や活性化につなげます。

基本的な考え方



○整備に向けた基本方針

- だれもが利用しやすい施設
- 来庁者数の変動に対応する施設
- セキュリティを確保し、プライバシーに配慮した施設
- 安全が確保され、安心して利用できる施設
- 環境に配慮した施設
- ライフサイクルコストの縮減
- 地域における交流等の促進
- 計画地周辺への影響の低減

■スケジュール(予定)

年 度	内 容
令和元年度	設計
令和2年度	設計・除却・建設
令和3年度	建設
令和4年度中	新庁舎供用開始



区役所新庁舎の待合スペース
(落札事業者の提案イメージ)

中村区将来ビジョン

発行・編集

中村区役所区政部企画経理室

〒453-8501名古屋市中村区竹橋町36番31号

TEL: 052-453-5492 FAX: 052-451-7639

<http://www.city.nagoya.jp/nakamura>

令和2年5月発行

QR

